

事務事業名	学校保健事業			担当	教育委員会 学校教育課 学校教育係			
政策名	B	学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくり			電話番号	0285-83-8181		
施策名	2	小・中学校の教育の充実			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
基本事業名				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			
法令根拠	学校教育法、学校保健安全法				<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 S33 年度～）			
予算科目	1.一般会計	10.教育費	2.小学校費,3.中学校費		1.学校管理費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
事業概要	児童生徒、教職員の健康の保持増進を図るために、健康診断等を行う。 ・児童生徒対象定期健康診断、心臓検診、腎臓検診、寄生虫検査、血液検査（中学生）、結核対策（問診及び精密検査） ・就学児対象就学時健康診断 ・教職員対象結核検診、生活習慣病検診 ・学校医、学校歯科医、学校薬剤師に対する委嘱、報酬等支払事務							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 24年度実績 各種健診等の実施・心臓検診・腎臓検診・寄生虫検査・血液検査・結核精密検査・教職員結核健診・教職員生活習慣病検診・学校医、学校歯科医、学校薬剤師報酬等 25年度計画 昨年度と同様		⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
		名称	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)
		ア 検診を受診した児童数(腎臓検診・就学予定児童を含む)		5629	5597	5545	5555	5459
		イ 検診を受診した生徒数(腎臓検診)		2371	2345	2358	2333	2344
		ウ 検診を受診した教職員数(生活習慣病・結核検診)		519	541	537	566	580
		エ						
		オ						
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 児童、生徒、教職員、就学予定児童		⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
		名称	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)
		ア 児童数(就学予定児童を含む)		5638	5597	5553	5556	5459
		イ 生徒数		2396	2366	2380	2347	2344
		ウ 教職員数		581	580	580	580	580
		エ						
		オ						
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 児童生徒、教職員の健康の保持増進を図る。		⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
		名称	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)
		ア 各種検診を受診した児童の割合(就学予定児童を含む)		99.8	100	99.8	99.9	100
		イ 各種検診を受診した生徒の割合		99.0	99.1	99.1	99.4	100
		ウ 各種検診を受診した教職員の割合		89.3	93.3	92.6	97.6	100
		エ						
		オ						
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 健康な学校生活が送れるようにする。		⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
		名称	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)
		ア 健康の保持増進が図られた児童の割合		99.8	100	99.8	100	100
		イ 健康の保持増進が図られた生徒の割合		99.0	99.1	99.1	99.4	100
		ウ 健康の保持増進が図られた教職員の割合		89.3	93.3	92.6	97.6	100
		エ						
		オ						
(2) 総事業費の推移		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0	0
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	394	399	393	391	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	39,163	38,861	38,910	38,667	0
	事業費計(A)	千円	39,557	39,260	39,303	39,058	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	0
		延べ業務時間	時間	400	400	400	400	0
		人件費計(B)	千円	1,622	1,707	1,697	1,681	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	41,179	40,967	41,000	40,739	0	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	学校教育法及び学校保健安全法により児童生徒、教職員の健康保持増進を図ることが義務付けられている。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	結核検診については、以前はBCGを接種していたが、国の方針が変更になりBCG接種の制度が廃止になり、その代替策として問診の実施と学校医及び結核対策委員会による判定により精密検査の有無を判定する方式に変わった。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 市勢発展長期計画において「学校保健の推進」を施策目標としていることから、市の上位施策に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 法律により、児童生徒、教職員の健康保持増進を図ることが義務付けられている。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 児童生徒、教職員の健康保持増進を図るために、各種健康診断等の実施は不可欠である。
有効性 評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 病気等の早期発見、早期治療につなげ、健康増進が図られている。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 児童生徒、教職員の健康の保持増進に支障をきたす。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 検診に要する経費であり、削減することはできない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 学校や検診機関との連絡調整等、必要最小限の事務である。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 法に基づいたもので受益者負担はない。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							